

# 遷喬小だより 3月号④

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

## 学校評価について

毎年、本校の取組について「学校評議会」で評価をお願いしています。

保護者アンケートの結果や学校からの報告書をもとに、「学び合う子・支え合う子・鍛え合う子」の3項目についてそれぞれご意見や評価をいただくとともに、総合所見としてのご意見をまとめていただきました。

本校の取組に対して、前向きな評価をしていただき、私たち教職員もさらなるエネルギーが湧くように感じています。また、今後の課題につきましてもご指摘いただき、来年度の方向性も見えてきたように思います。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様にも学校評価を一読していただけたらと思います。

### 【知】学び合う子

- ・チャイムスタートができており、児童は落ち着いて授業に取り組んでいる。
- ・話す人の方を向いて聴いている姿や、話をしっかりと聴こうする姿が見られ、「聴ききる」の姿勢が身につけてきている。
- ・自分の考えや思いが全体に伝わる声の大きさや、表現する力など、コミュニケーションの力の育成を図ってほしい。
- ・教室の掲示物から、児童が目標に向かって、グループ学習や計画実行反省などのサイクルでの活動など、主体的に活動している姿が見られる。また、学習の達成感から、自信にもつながっている。
- ・ICTの活用やGIGAスクールによるタブレットの使用、家庭学習の在り方など、学習にどのような取り入れていくのか研修等に取り組んでほしい。

### 【徳】支え合う子

- ・いろいろなミッションを与え、指導の工夫が見られる。児童が考えた取組もあり、全校で楽しく取り組み、目標に向かって努力している姿がみられる。
- ・工夫して様々な行事や活動を行い、児童が主体的に取り組んでいる。
- ・あいさつは、いろいろな場面で取り組んでおり、児童の評価は高いが、地域でのあいさつは課題があるので、引き続き取り組んでほしい。
- ・相互理解を深め、豊かな心をつくる取組の成果がみられる。
- ・長欠不登校児童の対応について、粘り強く取り組んでいる。環境づくり居場所づくりなど、細やかな配慮や見守りを継続してほしい。

## 【体】鍛え合う子

- ・ 前期と比較して後期は教員の評価が上がっている。
- ・ 運動の習慣化に向けて、いろいろな工夫をしている。児童も楽しく活動している。休み時間には、教師も一緒に遊んでいる姿や、寒い日でも外で遊んでいる姿が見られた。友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わうことや、体力の向上につながるので、これらの取組を継続してほしい。
- ・ 運動を進んでする児童がいる反面、あまり体を動かさない児童もいると思われるので、運動の習慣化に取り組み、運動好きな子を増やしてほしい。
- ・ コロナ禍のため、健康に気を付けることに目を向ける機会が増え、健康に関する意識は高くなっている。
- ・ メディアコントロールについて、家庭と連携した取組を進めてほしい。

## 学校関係者評価 総合所見

- ・ 学校全体が落ち着いており、学習へと向かう姿勢も意欲的である。
- ・ コロナ禍であったが、児童が主体的に活動できる場面を多く仕組み、児童も目標に向かって意欲的に活動している。
- ・ 「聴ききる」は定着してきているので、「表現し合う力」の育成に引き続き取り組んでほしい。
- ・ 地域でのあいさつ、メディアとの関わりなどの課題については、家庭との連携が必要となる。
- ・ 長欠不登校児童の対応には、専門機関とよく連携し、環境づくり居場所づくりなど細やかな配慮や見守りを継続してほしい。
- ・ GIGAスクールに向けての研修や実践にも期待している。

皆様からいただいた貴重なご意見やご指摘を踏まえ、来年度の学校経営に生かしていこうと思います。

## 学校関係者評価を受けての来年度方向性

- ・ 次年度も「研修部」「生徒指導部」「保健安全部」の各部会で重点目標を設定し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた教育活動を推進していく。
- ・ 生活科・総合的な学習の時間を核としたカリキュラムマネジメントと、学び合いの授業づくりを行う。また、「学び合いの姿」「表現し合う姿」を教職員間で共有し、児童に明確に示すことができるようにする。
- ・ タブレットやEライブラリの活用について、研修や実践に取り組んでいく。
- ・ 各教科・委員会活動・学級活動などで、児童が主体的に活動する場面を設定することで、自己肯定感や自己有用感を高めていく。
- ・ 長欠不登校対策については、SC・SSWを積極的に活用し、各種専門機関と連携を図る仕組みを整えていく。
- ・ 「体力の向上」に向けて年間計画を作成し、それに基づいて継続的な取組を行う。